

令和7年度小松市立向本折小学校 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
生徒指導	<あたたかくつよい集団をつくる>		
	・学校の現状にあった学校生活オリエンテーションを4月は全校一斉に行いどのクラスにも学習規律が定着し、落ち着いて学びに向かう集団にする。 ・児童会と連携して、学期ごとに、自己肯定感、自己有用感が高まるようにする取組を行い、あたたかい集団にする。 ・不登校を含め、学校生活に不安のある児童の実態把握と教職員との共通理解を図り、有効な手立や対策を考える。		
児童会	<児童の主体性を高める>		
	・授業や学校行事などで児童が主体的に活動を計画・実施できるように支援し、児童の主体性を高める。 ・児童会活動では、上学年が活躍できる場をつくり、下学年があこがれる上学年となれるようにする。		
道徳教育	<「規則の尊重」を重点目標とし、小さなきまりを大切にする心を育む>		
	・重点目標を校内や教室に掲示し、きまりを守ることへの意識を高める。 ・地域の方・保護者等、外部人材と連携した授業実践を行う。 ・道徳通信で道徳的取り組みを保護者に向けて発信し、地域の方や保護者とともに児童の心を育んでいく。		
読書教育	<読書の質の向上を図る>		
	・読書マイスターの取組で、読書のへの関心を高め、選書の幅を広げる。 ・家庭向けおたよりの発行や、毎月1回の家族読書に取り組むことで、家庭での読書を推進する。		
人権教育	<自分と他者を大切にしようとする心を育む>		
	・異学年で取り組む学習や行事後に、ミニレター形式でふり返りを交流する。 ・道徳や学級活動で、自分や友達の良いところ見つけを行うことを通して、ありのままの自分を受け入れたり、自己肯定感を高めたりできるようにする。 ・校内特別支援委員会と連携を図り、本校在籍の外国ルーツの児童に対する理解を深める職員研修を行う。		
保健健康教育	<すこやかな身体を育む>		
	・前年度のスポーツテストの結果で課題となった握力・柔軟性・持久力の向上のため、体育の準備運動やあすチャレの中でそれらを向上する運動を取り入れる。 ・2学期の学校保健委員会で「睡眠」をテーマに学習し、学校と家庭が連携して行える取り組みをする。		
情報教育	<ICT機器を活用して、教科の学びを深める>		
	・年間指導計画やカリキュラムマップを基に、学習用端末が効果的に利用できる場面や活用方法を考え、活用を推進する。 ・ICT機器を活用した授業実践を定期的に共有し、児童の学びを深める授業に繋げる。 ・各学年の発達段階に応じて、プログラミング的思考を養うための授業を行う。		
家庭・地域との連携	<開かれた学校づくりの推進>		
	・授業や特別活動において地域人材を活用し、学習活動の充実を図る。（総合的な学習の時間、道徳、クラブ活動など） ・各種便りやHP、メール配信等で学校から適切に情報を発信し、家庭や地域との連携に努める。		

学校関係者評価	
---------	--